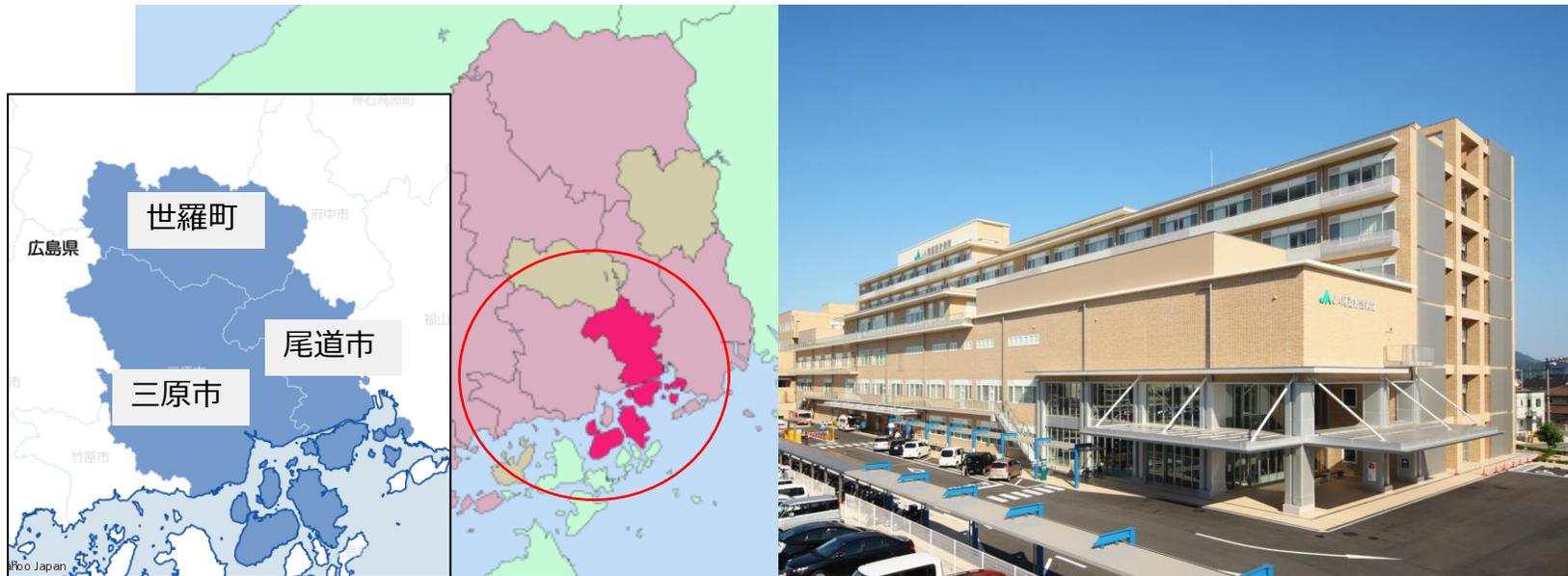


# 当院の概要

当院は広島県東部の尾道市（人口約13万人）の中核病院であり、2006年8月24日に尾三医療圏（人口約28万人）のがん診療連携拠点病院に指定されている。



# JA尾道総合病院の活動（がんに関して）



病院長：田妻 進  
標 榜：32診療科  
医師数：115名

- 1957年11月 開設（病床：280）
- ： 2003年 6月 **内視鏡センター**を開設
- 2006年 8月 厚労省指定 **がん診療連携拠点病院**
- 2011年 5月 現在地（平原）に移転（病床：393）  
**化学療法センター**を開設
- 2019年 4月 厚労省指定 **がんゲノム医療連携病院**
- 2022年 4月 **高精度放射線治療装置**を更新  
**放射線治療科**を新設 診療科32科に  
**遺伝子診療部**を新設
- 2023年 4月 **認定遺伝カウンセラー**を配置

# 広島県 令和4年10月1日現在の医療圏の状況と指定状況

## ネットワーク型がんセンター (①★, ②, ③◇, ④)

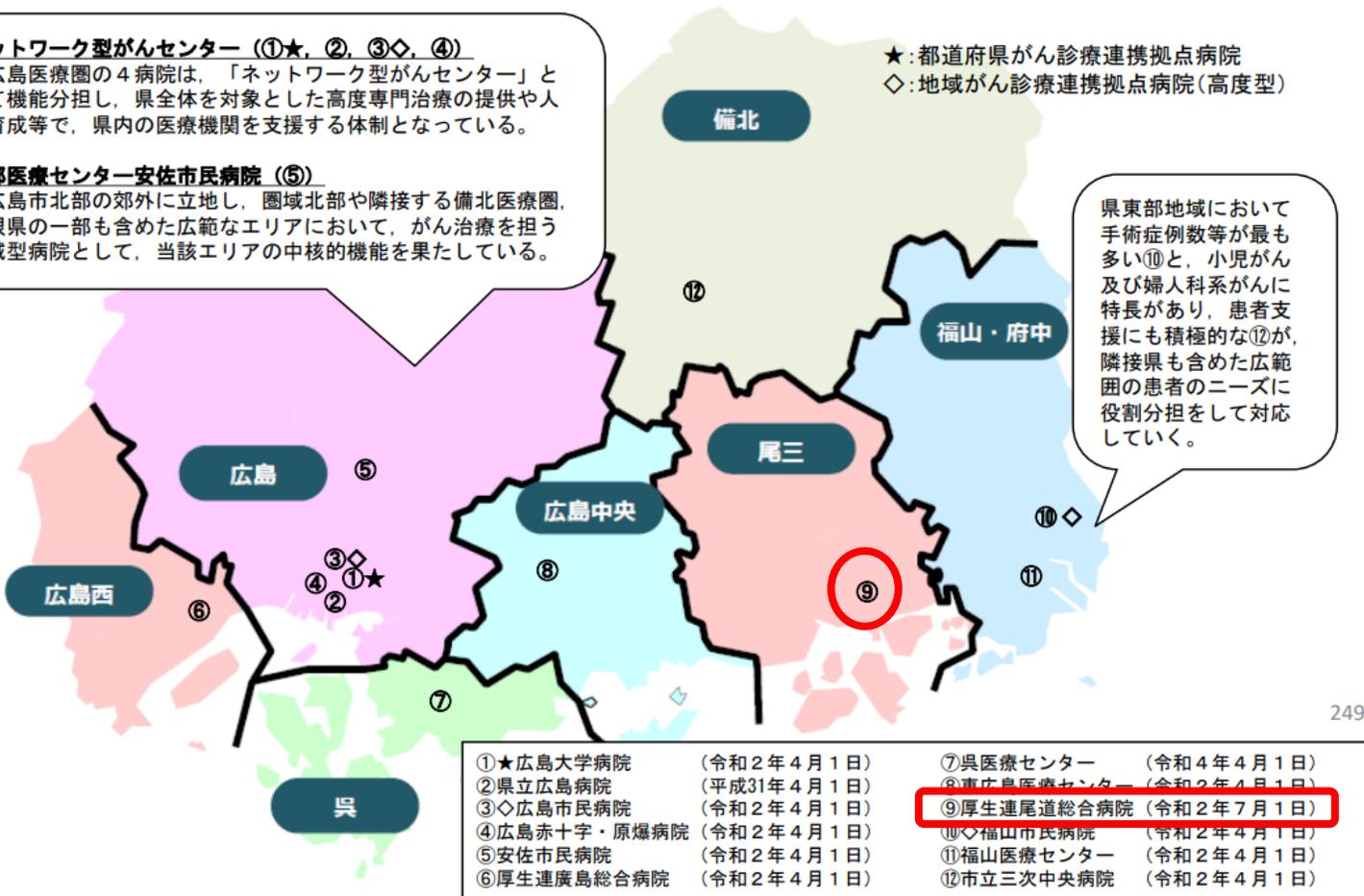
広島医療圏の4病院は、「ネットワーク型がんセンター」として機能分担し、県全体を対象とした高度専門治療の提供や人材育成等で、県内の医療機関を支援する体制となっている。

## 北部医療センター安佐市民病院 (⑤)

広島市北部の郊外に立地し、圏域北部や隣接する備北医療圏、島根県の一部も含めた広範なエリアにおいて、がん治療を担う地域型病院として、当該エリアの中核的機能を果たしている。

★: 都道府県がん診療連携拠点病院  
◇: 地域がん診療連携拠点病院(高度型)

県東部地域において手術症例数等が最も多い⑩と、小児がん及び婦人科系がんの特長があり、患者支援にも積極的な⑪が、隣接県も含めた広範囲の患者のニーズに役割分担をして対応していく。



249

(<https://www.mhlw.go.jp/content/10901000/001040603.pdf>)



・尾三医療圏人口：229,338人↓  
病院数：22

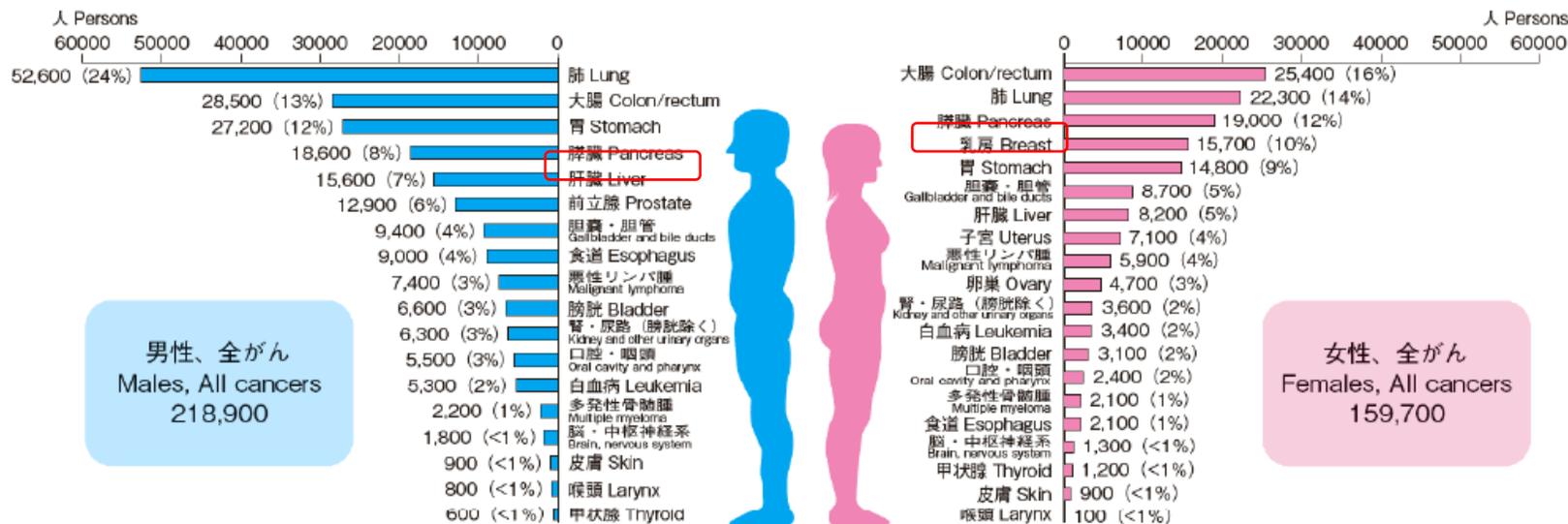
・当院がん登録（2021年）：1,496件↑  
（85%：尾三圏域）  
（10%：福山・府中圏域）

## ・臓器別のがん登録件数（2021年）

順位	癌腫	件数
1	大腸	225
2	胃	202
3	肺	182
4	前立腺	124
5	乳	107
6	膵臓	82
7	膀胱	64
8	肝臓	59

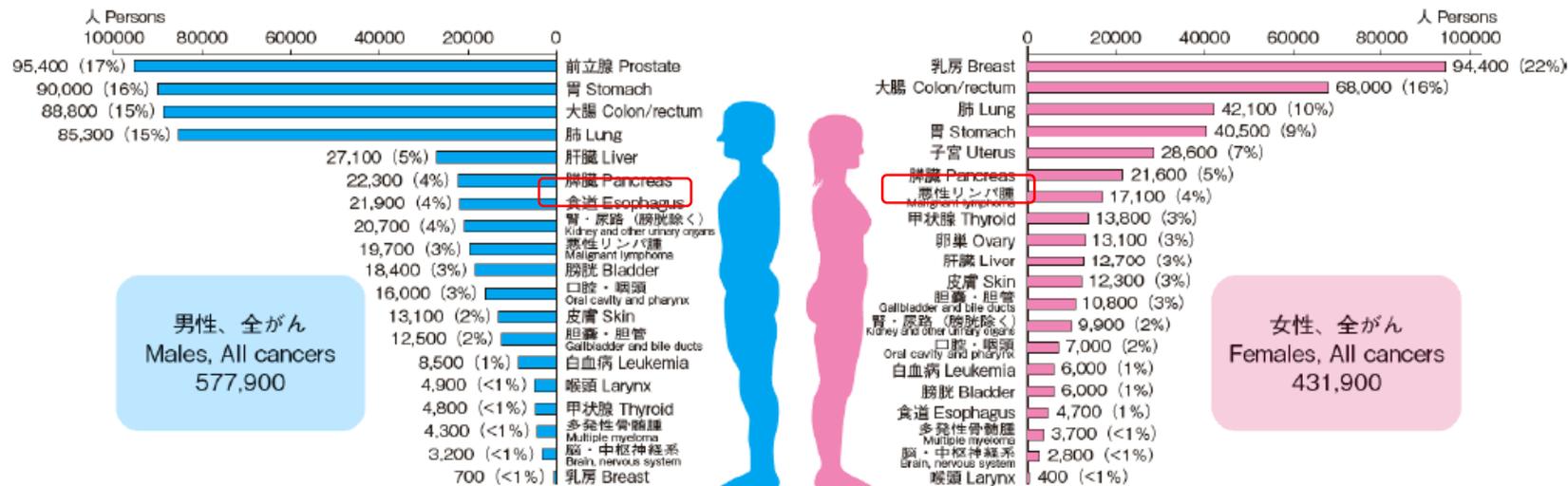


# (1) 部位別予測がん死亡数 (2021年) Projected Number of Cancer Deaths by Site (2021)



膵臓の予測死亡数 (2021)  
男性：4位 (18,600人)  
女性：3位 (19,000人)

# (2) 部位別予測がん罹患数 (2021年) Projected Number of Cancer Incidence by Site (2021)

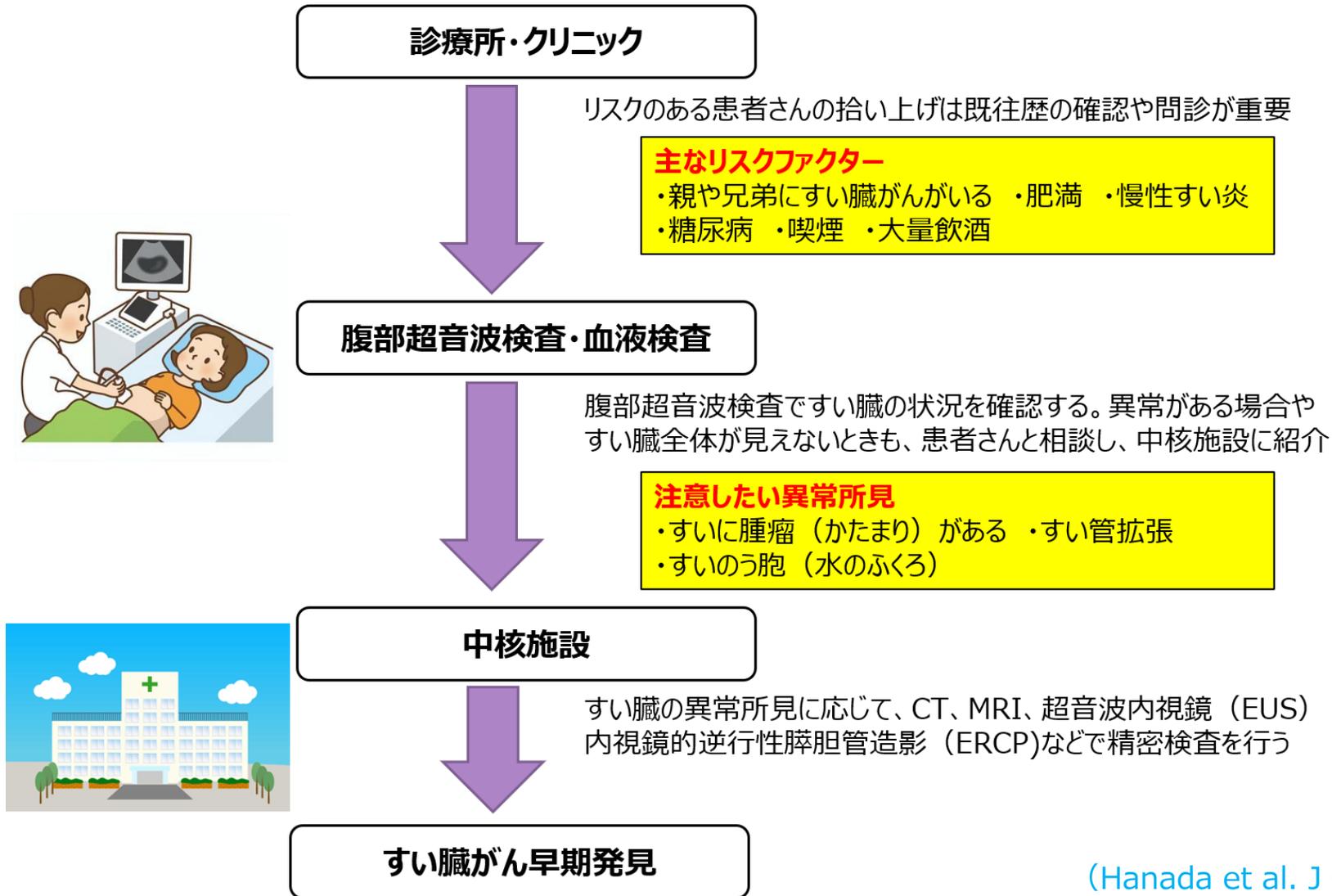


膵臓はかかる人、亡くなる人ともに増加傾向

膵臓の予測罹患数 (2021)  
男性：6位 (22,300人)  
女性：6位 (21,600人)

出典：がんの統計 2022

# 尾道方式のコンセプト



(Hanada et al. J Gastroenterol 2015)

# プロジェクト実現への障壁と対策①



## 1) ERCPへの懸念

- ・ 1997年に尾道地区へ膵臓専門医が着任したが、EUS、MRCPは地域医療圏に普及していない。
- ・ USでの膵管異常の精査にERCPを施行する方針を提案
- ・ 無症状の患者に合併症が危惧される**ERCPの紹介は困難**

## 2) EUS・MRI (MRCP) の導入

- ・ 上記の指摘を受けて膵管異常所見の精査を目的としたEUS/MRIを導入
- ・ 膵臓専門医の増員、EUS/MRI関連機器の拡充

## 3) 膵癌診療ガイドライン・EUS標準化描出法の発刊

- ・ 科学的根拠に基づく危険因子の設定
- ・ EUSの普及に向けた指針



# プロジェクト実現への障壁と対策②



## 4) スタッフへの教育・連携

- ・ 当院での医師・看護師・薬剤師・栄養士・臨床心理士などへの啓発
- ・ 細胞検査技師、放射線技師、MSWなど医療スタッフの啓発
- ・ 国がんを視察後、2012年から8種類の職種による『すいがん教室』を開始

当院は地域がん診療連携拠点病院として広島県と国立がん研究センターの協力を得て、すいがん教室を実施しています。

患者さん・家族をサポート

# すいがん教室

in JA Onomichi General Hospital

■ 日時：毎月第1・3火曜日 15:00 ▶▶ 16:00  
■ 場所：1階会議室（医療福祉支援センター奥）  
■ 対象：患者さんとそのご家族

参加無料  
申込不要

どんな内容ですか？  
前半はテーマについてのお話し。後半はフリータイムとなります。体調に応じて出入りは自由です。また、あいだでちょっとしたリラクゼーションタイム（ヨガ）もあります♪

### 第22クール

6/4	もっと知って欲しいすい臓がんのこと (呼吸専門医師)
6/18	薬物療法について よくわかる副作用のはなし (がん化学療法看護認定看護師 / がん薬物療法認定薬剤師)
7/2	がんとわかったときからはじまる緩和ケア “痛み止めの薬”のやさしい知識 (緩和ケア認定看護師 / 薬剤師) ~痛みを上手にとりのぞくために~
7/16	口腔ケアについて 困った時の食事のヒント (歯科口腔外科医師または歯科衛生士 / 管理栄養士)
8/6	こころからだ アドバンス・ケア・プランニングについて (公認心理師・臨床心理士 / 看護師)
8/20	治療・生活に役立つ情報の集めかた (社会福祉士)

【お問い合わせ先】JA 尾道総合病院 医療福祉支援センター 尾田・奥谷  
TEL: 0848-22-8111 (代番) FAX: 0848-22-5102 (直通) E-mail: ja.o.renkei-gan@trad.ocn.ne.jp





# プロジェクト実現への障壁と対策④



## 6) 連携施設への検査法の啓発

- ・ 外部講師を招いてエコー描出法の講習、尾道方式の成果の共有

### 日常診療に役立つ消化器エコー勉強会

#### 謹啓

時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さてこの度、下記の要領にて講演会を開催させていただき運びとなりました。  
ご多用の折とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

日時 2019年 8月 29日(木) 18:20 ~ 20:00  
(開場: 18:00)

会場 JA尾道総合病院 5階会議室  
広島県尾道市平原1丁目10番23号

18:20 ~ 18:30  
【情報提供】「最新の超音波診断装置」 キヤノンメディカルシステムズ株式会社

18:30 ~ 20:00

「予後の良い膵癌を拾い上げるために  
対外式超音波検査をどのように活用するか？」

18:30 ~ 19:00

第1部 講演 「膵がんに挑む -予後の良い膵がんとは-」

19:00 ~ 20:00

第2部 ライブセミナー 「明日から役立つ膵臓の超音波のコツ」

座長 花田 敬士 先生

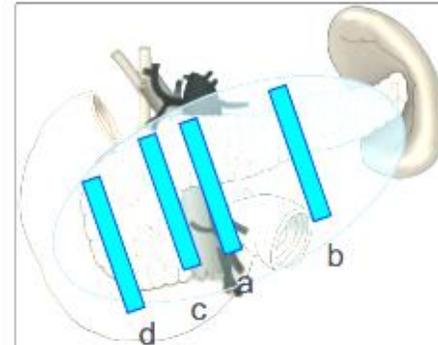
JA尾道総合病院 診療部長 内視鏡センター長

演者 岡庭 信司 先生

飯田市立病院 消化器内科 部長

※軽食(お弁当)をご用意しております。  
※当日はご参加頂いた確認のため、ご施設名・ご方名のご記載をお願い申し上げます。なお、ご記載頂いた、ご施設名・ご方名は医療機器に関する情報提供のために利用させていただきます。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

共催: JA尾道総合病院 / キヤノンメディカルシステムズ株式会社  
後援: 一般社団法人 尾道市医師会



# プロジェクト実現への障壁と対策⑤



## 7) 膵癌早期診断に関する成績発信

- ・国内外での学術活動、多施設共同研究、診療ガイドラインへの反映



### 第14回 膵癌早期診断研究会

開催日時 **2021年11月27日(土) 18:00~20:30**

開催方法 **WEB開催 (配信会場: ベルサール汐留)**  
 事前参加登録のうえご視聴ください。詳しくは裏面をご確認ください。  
 一般参加の方は配信会場に入場出来ませんので、ご注意ください。

参加費 **1,000円**

17:50~18:00  
**製品紹介** E Aファーマ株式会社

18:00~18:05  
**開会の挨拶** JA尾道総合病院 消化器内科 **花田 敬士 先生**

18:05~18:35  
**ミニレクチャー** 司会: JA尾道総合病院 消化器内科 **花田 敬士 先生**  
**「NEC」**  
 大阪大学大学院 医学系研究科 医学専攻 ゲノム情報学講座 がんゲノム情報学  
 国立がん研究センター 研究所 ゲノム医科学分野 **谷内田 真一 先生**

18:35~20:25  
**症例提示** 司会: 愛知県がんセンター 消化器外科 **清水 泰博 先生**  
 和歌山県立医科大学 第二内科 **蓋田 玲子 先生**  
 症例提示施設:  
 1. 山梨大学附属病院 消化器内科  
 2. 自治医科大学 病理学講座・病理診断部

20:25~20:30  
**閉会の挨拶** 京都第一赤十字病院 病理診断科 特別顧問  
 京都府立医科大学 名誉教授 人体病理学 特任教授 **柳澤 昭夫 先生**

共催: 膵癌早期診断研究会  
 E Aファーマ株式会社/ガデリウス・メディカル株式会社

### ORIGINAL ARTICLE

## Pathological Features and Imaging Findings in Pancreatic Carcinoma In Situ

Keiji Hanada, MD, PhD,\* Motomitsu Fukuhara, MD,† Tomoyuki Minami, MD, PhD,‡ Shigeki Yano, MD,† Juri Ikemoto, MD,† Akinori Shimizu, MD, PhD,\* Keisuke Kurihara, MD, PhD,\* Yasuhiro Okuda, MD,\* Morito Ikeda, MD,\* Masataka Yokode, MD,\* Tomoyuki Abe, MD, PhD,§ Shuji Yonehara, MD, PhD,|| and Akio Yanagisawa, MD, PhD¶

Digestive Endoscopy 2022; \*\* : \*\*-\*\*

doi: 10.1111/den.14240

### Review

## Endoscopic approach in the diagnosis of high-grade pancreatic intraepithelial neoplasia

Keiji Hanada, Akihiro Shimizu, Keisuke Kurihara, Morito Ikeda, Takuya Yamamoto, Yasuhiro Okuda and Susumu Tazuma

Department of Gastroenterology, Onomichi General Hospital, Hiroshima, Japan

(Hanada et al. Dig Endosc 2022)  
 (Hanada et al. Pancreas 2021)





Article  
**Endoscopic Ultrasonography Diagnosis of Early Pancreatic Cancer †**

Keisuke Kurihara \*, Keiji Hanada and Akinori Shimizu

Department of Gastroenterology, Onomichi General Hospital, 1-10-23, Hirahara, Onomichi 722-8508, Japan; kh-ajpbd@nifty.com (K.H.); a.shimizu313@gmail.com (A.S.)

\* Correspondence: k.kurihara@onomichi-gh.jp; Tel.: +81-848-22-8111; Fax: +81-848-23-3214

† This study was approved by the ethics committees of Onomichi General Hospital (OJH-202043).

Received: 8 November 2020; Accepted: 10 December 2020; Published: 14 December 2020



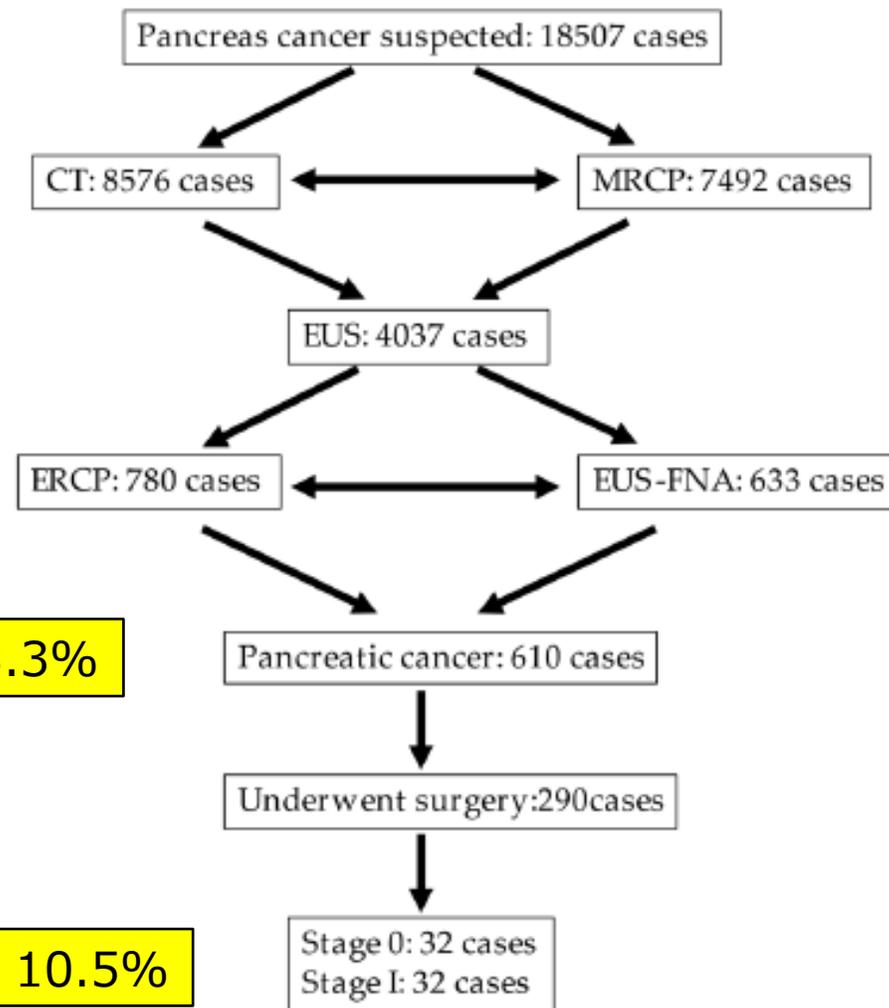
2007/01~2020/06

5年相対生存率

2011-2013年診断 : 18.82%

2014-2016年診断 : 17.21%

2011-2016年診断 : 17.91%



疑い症例の3.3%

Stage0, I : 10.5%

(Kurihara et al. Diagnostics 2020)



## 2018年10月17日 NHK『ガッテン』

**タイトル：奇跡のまちの物語**  
**内容：すい臓がんの危険因子、診断におけるエコーの重要性**  
**地域の診療所と協働した早期診断に関する尾道の取り組みほか**

他：NHK-Eテレ：『きょうの健康』2回  
 NHK-Eテレ：『チョイス』  
 TBS：健康カプセル ゲンキの時間！など  
 全国主要紙（朝日、読売、日経など多数）



## 2) 広島県、広島大学、広島県医師会が協働で膵臓癌早期診断プロジェクト ・ 広島県地域保健対策協議会でWGが発足し2022年11月から稼働

2 分野別行動計画 (2) がん医療

項目	現状	取組の方向性	実施主体	事業内容及び工程	新規/継続/拡充など	取組の主体							目標(平成35年度)
						県	市町	拠点病院	その他医療機関	企業	患者・家族	県民	
医療提供体制の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■県内拠点病院数・国指定:11施設(全二次保健医療圏域)</li> <li>■県指定:5施設</li> </ul>	がん診療連携拠点病院の機能強化	拠点病院	拠点病院は、「がん診療連携協議会」において、病院間の相互評価による各病院の課題の洗い出しと組織的な対策を実施する。	継続	○	◎						<ul style="list-style-type: none"> <li>■がん種ごとの5年生存率の向上</li> <li>■全ての二次保健医療圏域でのがん診療連携拠点病院の整備継続</li> </ul>
			拠点病院	拠点病院は、指定要件を満たしていないことが疑われる事項について、改善に取り組む。	継続	○	◎						
			拠点病院	[PDCAサイクルを回して毎年度実施]	継続	○	◎						
			拠点病院	拠点病院は、院内がん登録を活用した治療成績の評価を実施する。	継続	○	◎						
			拠点病院	拠点病院は、見直し後の整備指針に掲げる要件を満たすよう、「迅速かつ適切に対応する。	継続	○	◎						
			拠点病院	[PDCAサイクルを回して毎年度実施]	継続	○	◎						
■がんゲノム医療の拠点(連携)病院の国指定・なし	■希少がんの医療体制現状把握と県民への情報提供が不十分	希少がん・難治性がん対策の推進	県	県は、広島大学病院と連携して、がん登録データの活用により、希少がんの医療提供体制の現状を把握する。	新規	◎	○						<ul style="list-style-type: none"> <li>■がんゲノム医療の拠点(連携)病院の国指定・1施設</li> <li>■希少がんの医療提供体制の情報提供の充実</li> </ul>
			県	[平成30年度中]	新規	◎	◎	○	○				
			広島大学病院	県及び広島大学病院は、県民へ希少がんの医療提供体制の情報提供を行い、症例の集約化に取り組む。	新規	◎	◎	◎	◎				
■難治性がんの診療の実態把握が不十分	■膵臓がん早期発見患者割合・7.3%		県	県、拠点病院及び地区医師会等は、連携して、早期発見が治療に有効な膵臓がんの早期発見のための体制の構築に取り組む。	新規	◎	◎	◎	◎				<ul style="list-style-type: none"> <li>■膵臓がん早期発見患者割合の増加</li> </ul>
			県	[平成31年度から]	新規	◎	◎	◎	◎				
■膵臓がん早期発見患者割合・7.3%			県	県、拠点病院及び地区医師会等は、圏域内において膵臓がんの早期発見の取組を推進する。	新規	◎	◎	◎	◎				
			県	[平成32年度から]	新規	◎	◎	◎	◎				

県 拠点病院等 医師会	[平成31年度から] 県、拠点病院及び地区医師会等は、連携して、早期発見が治療に有効な膵臓がんの早期発見のための体制の構築に取り組む。	新規	◎	◎	◎	◎						<ul style="list-style-type: none"> <li>■膵臓がん早期発見患者割合の増加</li> </ul>
県 拠点病院等 医師会	[平成30年度から平成31年度まで] 県、拠点病院及び地区医師会等は、圏域内において膵臓がんの早期発見の取組を推進する。	新規	◎	◎	◎	◎						
	[平成32年度から]											

# Hiroshima Pancreas Cancer Early Diagnosis with Collaboration and Examination (Hi-PEACE Project)

すい臓がんは多くの場合、進行した状態で発見される恐ろしい疾患だ。だが、**早期に発見すれば生存率は高くなる!**

すい臓がんは多くの場合、進行した状態で発見される恐ろしい疾患だ。

すい臓がんは早期発見が鍵となるため、この度、早期発見のためのプロジェクトを立ち上げました。「Hi-PEACE」は、「平和」の地である「広島」で、関係者が連携し、すい臓がんになっても早期に治療し、安心して生活できる社会を目指して名付けました。

※「Hiroshima Pancreas Cancer Early Diagnosis with Collaboration and Examination」の略。

広島県がん対策研究センター 啓蒙担当 下野人

**早期発見が重要! (5年生存率)**

ステージ	5年生存率 (%)
ステージI	49.8%
ステージII	21.6%
ステージIII	6.9%
ステージIV	1.9%

出典: (注)「がん予防と早期発見」(がんの予防)2022 全国がんセンター協議会 広島県版 がんによる5年生存率

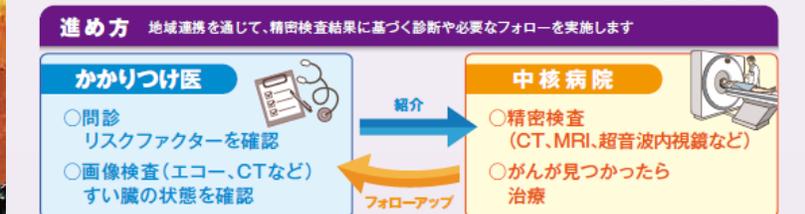
すい臓がん **Hi-PEACE** プロジェクト始動!

広島県がん対策研究センター 啓蒙担当 下野人

**早期発見が重要! (5年生存率)**

ステージ	5年生存率 (%)
ステージI	49.8%
ステージII	21.6%
ステージIII	6.9%
ステージIV	1.9%

出典: (注)「がん予防と早期発見」(がんの予防)2022 全国がんセンター協議会 広島県版 がんによる5年生存率



**リスクファクターとは** 「がんを引き起こす恐れのある要因」のことです

Low-grade 危険因子	High-grade 危険因子
<input type="checkbox"/> すい臓家族歴: 第一度近親者 (親、子、きょうだい) 以内に1人	<input type="checkbox"/> すい臓家族歴: 第一度近親者 (親、子、きょうだい) 以内に2人以上
<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 糖尿病の新規発症/増悪
<input type="checkbox"/> 肥満 (BMI>30kg/m <sup>2</sup> )	<input type="checkbox"/> 腫瘍マーカーの上昇
<input type="checkbox"/> 喫煙	
<input type="checkbox"/> 飲酒 (3合/日以上)	
<input type="checkbox"/> すい臓素異常	

Low-grade 危険因子 3項目以上      High-grade 危険因子 1項目以上

## 各医療圏の中核病院に紹介

**中核病院で精密検査・治療を行います**

医療圏	中核病院	住所	TEL
①広島西	広島大学病院	広島市南区裏1丁目2-3	TEL:082-257-5955(代表)
②広島東	広島市立広島市民病院	広島市中区基町7-33	TEL:082-221-2291(代表)
③尾三	県立広島病院	広島市南区子品神田1丁目5-54	TEL:082-254-1818(代表)
④福山・府中	広島赤十字・原爆病院	広島市中区千田町1丁目0-6	TEL:082-241-3111(代表)
⑤広島北	広島市立北部医療センター 安佐市民病院	広島市安佐北区亀山南1丁目2-1	TEL:082-815-5211(代表)
⑥広島南	広島記念病院	広島市中区本川町1丁目4-3	TEL:082-292-1271(代表)
⑦広島東	済生会広島病院	広島県安芸郡坂町北郷地2丁目3-10	TEL:082-884-2566(代表)
⑧広島東	JA広島総合病院	広島県廿日市市地部前1丁目3-3	TEL:0829-36-3111(代表)
⑨広島東	東広島医療センター	広島県東広島市高木町寺塚513番地	TEL:082-423-2176(代表)
⑩広島東	県立安芸津病院	広島県東広島市安芸津町三津4388	TEL:0846-45-0055(代表)
⑪広島東	興医療センター 中国がんセンター	広島県呉市青山町3-1	TEL:0823-22-3111(代表)
⑫広島東	興共済病院	広島県呉市西中央2丁目3-28	TEL:0823-22-2111(代表)
⑬広島東	中国労災病院	広島県呉市金曇谷1丁目5-1	TEL:0823-72-7171(代表)
⑭広島東	済生会呉病院	広島県呉市三津2丁目1-13	TEL:0823-21-1001(代表)
⑮広島東	JA尾道総合病院	広島県尾道市平原1丁目10-23	TEL:0848-22-8111(代表)
⑯広島東	三原赤十字病院	広島県三原市赤十字町2丁目7-1	TEL:0848-64-8111(代表)
⑰広島東	市立三次中央病院	広島県三次市金曇谷10531番地	TEL:0824-65-0101(代表)
⑱広島東	庄原赤十字病院	広島県庄原市西町2丁目7-10	TEL:0824-72-3111(代表)
⑳広島東	福山市民病院	広島県福山市福山町5丁目23-1	TEL:084-941-5151(代表)
㉑広島東	福山医療センター	広島県福山市野野上町4丁目14-17	TEL:084-922-0001(代表)

○ 二次保健医療圏名  
— 二次保健医療圏境界

すい臓がんの治療は早期発見が鍵となるため、この度、早期発見のためのプロジェクトを立ち上げました。「Hi-PEACE」は、「平和」の地である「広島」で、関係者が連携し、すい臓がんになっても早期に治療し、安心して生活できる社会を目指して名付けました。

※「Hiroshima Pancreas Cancer Early Diagnosis with Collaboration and Examination」の略。

広島県地域保健対策協議会

一般社団法人 広島県医師会   広島大学   広島県   広島市

広島県地域保健対策協議会

一般社団法人 広島県医師会   広島大学   広島県   広島市

詳しい情報は広島県ホームページへ下記二次元コードからアクセスしてください。

プロジェクトに関するお問い合わせは 広島県健康づくり推進課 (082-513-3063) まで

# Hi-PEACEプロジェクト始動!

広島県がん対策推進機構  
チーム医療推進室



すい臓がんは、早期での自覚症状はなく、早期発見が難しいため、5年生存率は非常に低くなっています。「治療ができる小さなすい臓がんをいかに早期発見するか」がとても重要です。

このため、広島県医師会、広島大学、広島県、広島市でプロジェクトを立ち上げ、地域の中核病院やかかりつけ医の協力を得て、すい臓がんの早期発見・早期治療の仕組みを作ることになりました。

「Hi-PEACE」®は、「平和」の地である「広島」で、関係者が連携し、すい臓がんになっても早期に治療し、安心して生活できる社会を目指して名付けました。

※Hiroshima Pancreas Cancer Early Diagnosis with Collaboration and Examination (Hi-PEACE) 登録商標

早期発見が重要! (5年生存率)



出典: [引用] JGFA研究発表資料  
[JGFAの最新2022] 全国がんセンター協議会  
膵臓がんにおける5年生存率



**進め方** 地域連携を通じて、精密検査結果に基づく診断や必要なフォローを実施します

### かかりつけ医

- 問診  
リスクファクターを確認
- 画像検査(エコー、CTなど)  
すい臓の状態を確認



紹介

フォローアップ

### 中核病院

- 精密検査  
(CT、MRI、超音波内視鏡など)
- がんが見つかったら  
治療



**リスクファクターとは** 「がんを引き起こす恐れのある要因」のことです

#### Low-grade 危険因子

- すい臓家族歴: 第一度近親者  
(親、子、きょうだい)以内に1人
- 糖尿病
- 肥満(BMI>30kg/m<sup>2</sup>)
- 喫煙
- 飲酒(3合/日以上)
- すい酵素異常

#### High-grade 危険因子

- すい臓家族歴: 第一度近親者  
(親、子、きょうだい)以内に2人以上
- 糖尿病の新規発症/増悪
- 腫瘍マーカーの上昇

Low-grade 危険因子 3項目以上

High-grade 危険因子 1項目以上

各医療圏の中核病院に紹介

広島県地域保健対策協議会



一般社団法人 広島県医師会



広島大学



広島県



広島市

詳しい情報は  
広島県ホームページへ  
右記二次元コードから  
アクセスしてください。



## 低危険群 3項目

- すい臓がんが親兄弟に1名
- 糖尿病
- 肥満 (BMI>30kg/m<sup>2</sup>)
- 飲酒 (3合/日以上)
- すい酵素異常

## 高危険群 1項目

- すい臓がんが親兄弟に2名
- 糖尿病の新規発症/増悪
- 腫瘍マーカーの上昇

心当たりがあればかかりつけの先生に相談を